

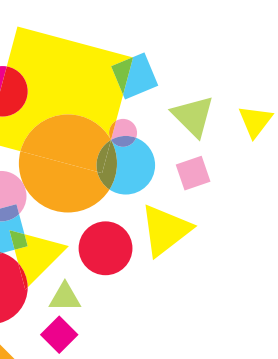


2021-2023年度

NHKエンタープライズ 中期経営計画



nep
NHKエンタープライズ



コロナ禍によって、世界は大きく
変わりつつあります。
先の見えない不安が広がり、
人と人のつながりさえ
希薄になり始めています。

こうした時代こそコンテンツの力が試されます。

放送・通信・イベントなど、あらゆる機会を
とらえ、人々に情報と感動と夢を届け、
明日への活力、生きる力を甦らせる。
人と人をつなぎ、心と心を結ぶ。

Enterprises for All!

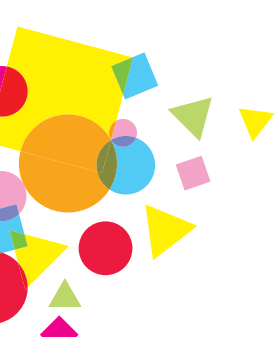
NHKエンタープライズは、新たな時代を
共に生きる社会へと変える力になります。



経営理念

Enterprises for All!

冒険、創造、貢献。
社会のために、すべての人のために！



私たちは今、大きな変化に直面しています。

デジタルシフトが急激に進む中、人々のコンテンツとの接し方は根本から変わりました。また、NHKの受信料収入も減収局面が続くことが想定されています。

私たちはこれまで経験したことのない、厳しい経営環境に向き合うことになります。しかし、事業規模が縮小する中でも、会社の質的向上に努め、これまで以上に企業価値を高めていきます。

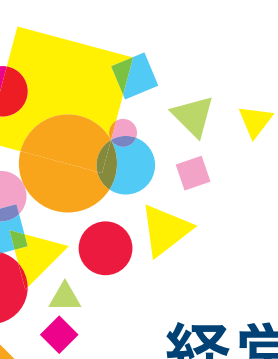
私たちは何をすべきか、NEPは何のために存在しているのか、私たちは改めて原点に立ち戻り、NHKを支え、事業を通して社会に貢献します。

Enterpriseとは、企業という意味だけではありません。
変化を恐れない心、「冒険心」を持ち、困難があっても新しいことを企て、大胆に挑戦するという意味を持ちます。
これが、NEPの精神です。

また、NHKグループの中核企業であるNEPの根本には「公共」という概念があります。

世の中の役に立つ仕事をする事で、世界を明るくする。
人が困っていることを見つけて、解決に向けて取り組む。

社会に貢献することで、会社も私たちも成長します。



経営方針

いま、私たちには不確実で不安定な時代に立ち向かう覚悟と行動が求められています。

.....

冒険

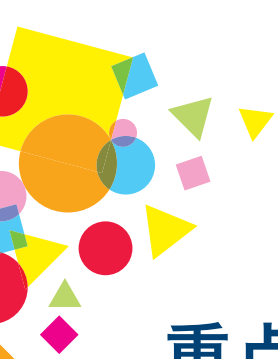
- ▶ フロンティア・スピリットを堅持し、変化を乗り越え未知の領域に踏み出します。
- 社員一人ひとりが、今やっていること・与えられたことの枠を超え、常に前進する会社をめざします。

創造

- ▶ 変革の時代に、新たな価値を生む創造に邁進します。
- 従来の番組づくりに満足せず、新たなコンテンツや、インターネット、リアルイベントなど多様な媒体をクロスさせたサービスを生み出します。
- DXを、あらゆる事業、あらゆる部署で進め、経営資源の最適管理と成長分野への効果的な投入に取り組みます。

貢献

- ▶ 自社の利益に留まらない、すべての人の幸せを追求します。
- 持続可能な世界を実現するSDGsへの取り組みを、全社を挙げて推進します。
- 全国ネットワークを生かし、日本各地の発展に力を尽くします。
- 「多様な価値観に基づく多様な生き方・働き方」の実現をめざします。



重点項目

NEPの強みである、制作力、展開力、そして全国を結ぶ支社のネットワークを活用して、5つの重点項目に取り組み、すべてのステークホルダーの信頼と期待に応えます。

.....

● コア事業の革新 ～企業価値をさらなる高みへ～

2つの柱であるコンテンツ制作と展開事業を強化するため、選択と集中を一層進め、NHKブランドを向上させます。

● 新規事業の開拓 ～“新しい何か”への挑戦～

NHK業務で培ったノウハウを活用し、社会にソリューションを提供する事業を開発します。

● 地域サービスの向上 ～全国ネットワークで日本活性化～

「オールNEP」で地域の魅力を全国・世界に発信。各地の発展につながる事業にも取り組み、日本を元気にします。

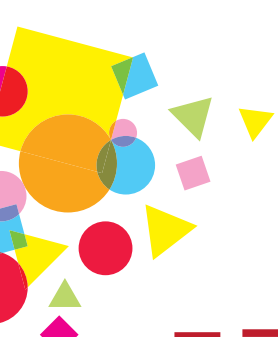
● Smart Work ～人生をより豊かに～

効率的・効果的で多様な働き方を実現できるダイバーシティ先進企業をめざします。

● SDGsへの貢献 ～人と人をつなぐ企業に～

NEPのすべての事業でSDGs推進をめざし、持続可能な社会の発展に取り組む個人・団体・プロジェクトを支えます。

※ 上記重点項目への取り組みに当たっては、各部署でKGI・KPIを設定し、目標達成に向けた進捗管理を行います。



コア事業の革新 ～企業価値をさらなる高みへ～

2つの柱であるコンテンツ制作と展開事業を強化するため、選択と集中を一層進め、NHKブランドを向上させます。

.....

制作

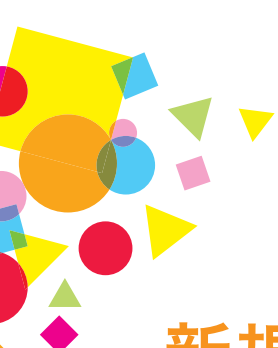
- 「チコちゃんに叱られる！」に続く国民的人気番組や若者からも支持されるデジタルコンテンツを開発します。
- 外部の優れた才能と連携し、さまざまな「ジャンル」で最適なコンテンツを制作し、ターゲットを確実にとらえます。
- 最先端の撮影技術を駆使した大型シリーズ番組を世界に発信しNHKブランドの価値を高めます。
- NEPがIP(知的財産)を保有するコンテンツの制作に積極的に取り組み、展開事業を活性化します。

展開

- アニメ事業を、グローバル市場を見据え積極的に展開します。
- 「忍たま乱太郎」「天才てれびくん」など、NHK番組から派生した2.5次元イベントをリアル&オンライン型に進化させ、リーチを拡大します。
- 3D、AR、VRなど最新のデジタル技術を駆使して、NHKグループが保有するIPの価値を最大化します。

経営資源の選択と集中

- 全ての事業をゼロベースで見直し、注力する分野と縮小・撤退する分野を仕分けし、構造改革を断行します。
- コンテンツ制作力を一層強化するために、新たな映像表現や撮影技術の開発、人材育成に、積極的に投資します。



新規事業の開拓 ～“新しい何か”への挑戦～

NHK業務で培ったノウハウを活用し、
社会にソリューションを提供する事業を開発します。

.....

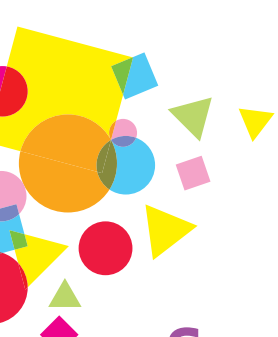
- 大学など教育機関のオンライン授業に番組を提供し、“NHK離れ”が加速する若い世代の学びを支えます。
- 番組制作で蓄積した高い専門性を生かし、超高齢化やエネルギー、気候危機などの解決に向けた事業に取り組みます。
- NEPビデオレストアサービスを活用し、埋もれていた映像資産を社会に還元します。
- グループ会社の力を結集し、エデュテインメントや斬新な演出のデジタルライブなど新次元のイベントを開発し、5G時代の新たな文化創造に挑戦します。

地域サービスの向上 ～全国ネットワークで日本活性化～

「オール NEP」で地域の魅力を全国・世界に発信。
各地の発展につながる事業にも取り組み、日本を元気にします。

.....

- 国民の安全と安心を守る番組制作や新たな防災イベントを展開します。
- 地域の活性化をめざす、さまざまな事業や活動を支援し、豊かな社会の創生に貢献します。
- 本社と支社の人材交流を推進し、全国ネットワークを強化します。
- ニューノーマル時代の世界を結ぶ新たな空間を創造し、大阪・関西万博に結実させます。



Smart Work ～人生をより豊かに～

効率的・効果的で多様な働き方を実現できる
ダイバーシティ先進企業をめざします。

.....

- 業務改革を推進し、経営環境の変化にスピーディーに対応できる体制を構築し、会社の質的な成長をめざします。
- 新たに導入するERPや RPA・AIを活用し、全職場で業務を効率化し、管理を高度化します。
- リモートワークの環境整備を進め、仕事と育児・介護との両立、多彩な人材がより創造性を発揮できる場を支えます。
- コンプライアンスの遵守と内部統制強化に努め、社員一人一人が企業倫理を重んじ、社会の信頼に応えます。

SDGsへの貢献 ～人と人をつなぐ企業に～

NEPのすべての事業でSDGs推進をめざし、持続可能な
社会の発展に取り組む個人・団体・プロジェクトを支えます。

.....

- 「高校生ボランティア・アワード」「渋谷フレンズ」などのコンテンツ制作により、SDGsに取り組む人々の力を結集します。
- 地域とのパートナーシップによる健康・教育・文化芸術、また地球環境問題などの分野で、SDGs達成に役立つ事業を創出します。
- 全社員が社会と身の周りの課題に目を向け、改善・解決に取り組む企業風土を確立します。

NEPが注力すべき事業

SDGsへの貢献

Smart Work

DXの推進、ダイバーシティ先進企業へ

コア事業の革新

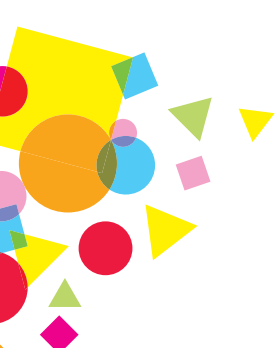
- 制作：国民的番組、若者向けデジタルコンテンツ、最先端技術の大型シリーズ番組制作
- 展開：アニメ事業のグローバル展開、2.5次元イベント、3D・AR・VR
- 経営資源の選択と集中：構造改革断行、制作力強化に向け投資

新規事業の開拓

- 大学等のオンライン授業で若い世代の学びを支援
- 超高齢化や環境問題など、社会課題解決に向けた事業
- NEPレストアサービスで映像資産を社会に還元
- エデュテインメントや新次元イベントで5G時代の新たな文化創造

地域サービスの向上

- 安全と安心を守る番組制作・防災イベント
- 地域の活性化に貢献する事業や活動を支援
- 本社・支社の人材交流推進、全国ネットワーク強化
- 大阪・関西万博に向け、世界を結ぶ新空間を創造



2021-2023 年度 収支計画

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	625億円	623億円	593億円
純利益	7.7億円	9.1億円	8.4億円

- 2021年度は、統合による退職給付債務の算出見直し
- 2021年度から 2023年度は、新ERPへの設備投資

※ 本計画は、社会・経済情勢の変化などに応じて見直すことがあります。